平成２９年度

要　望　書

大阪府立高等学校ＰＴＡ協議会

要　望　書

大阪府議会、大阪知事部局、大阪府教育庁の皆様におかれましては、平素から府立高等学校における教育振興に格別のご配慮を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、教育庁が管掌される平成29年度当初予算において、各事業を精査され、要望に応えていただいていることに感謝しております。

しかしながら情報機器の普及と急速な変化によって、人と人のつながり方が大きな影響を受け、停滞する経済状況が続く中、地域や家庭環境という生徒にとって大切な環境に、厳しいものがあります。

その中にあって教育の場としての学校は生徒が自分の命と他人の命を大切にしながら健やかに成長するところであり、その環境としてふさわしいものであることが期待されます。

これまでに安全を第一として耐震対策の予算を確保し、精力的に進めていただきました。一方で「新設校」といわれた府立高校においても、その多くが建設時より３５年以上経過しており、技術の進歩と生活環境の変化の中にありながら各校の施設・設備の老朽化が目立ち、安全性に欠く緊急性に高いものがあります。

その中で昨年度は学習環境改善事業費、府立学校老朽化対策費、府立学校施設設備緊急改修事業費などによりトイレの設備、環境整備や校舎等の施設・設備改修を計画的に実行されていることに各校ＰＴＡの注目が集まりました。

また学校維持管理費のマイナスシーリングを中止され昨年度に続き増額されたことを評価しております。

引き続き各校より寄せられました要望には、現代の府立学校にふさわしい教育環境の整備と充実を求めるものが多くあります。

今年度もその切実な要望の代表的なものを３枚にまとめ、併せて各校からの声を６つの項目ごとに紹介させていただきます。

次年度の予算編成へ向けて、いずれも大切な要望であり、各項目について検討され、回答をお願いいたします。またご回答いただきました内容については加盟校に報告いたしますとともに、昨年度に続いて平成３０年度途中で、その実施状況について改めてお伺いいたしますので、引き続いてのご理解とご協力を賜りますよう、切に要望いたします。

平成２９年９月２８日

大阪府立高等学校ＰＴＡ協議会

**１、個性を伸ばす高校教育の充実に関する事項**

公立高校が生徒や保護者にとって魅力ある学校になるよう、各校が大阪府の制度・システムを生かして教育活動に取り組んでいる。各校のそれぞれの目標・取り組みがより一層実現できるよう、それぞれの人的支援制度の充実と予算的な裏付けをお願いしたい。

（１）教育相談：スクールカウンセラー・スーパバイザーの配置と常駐化

（２）スクールソーシャルワーカーの全校配置

（３）すべての学校が手厚い教育ができるよう、教職員の資質・数の確保により、少人数指導を継続する

（４）学校支援社会人等指導者の需要が高い。時間数、単価それぞれ増加を

（５）実用的な語学力教育のため、「骨太の英語力養成事業」等を継続

**２、学校管理運営費に関する事項**

　　学校管理費予算が２年続けて増額されましたが、まだ必要な教材予算等が十分確保できない状況にあります。充実した学校教育を行うのに必要な予算の確保を要望します。

（１）教室のエアコンの空調総時間の増加と弾力的運用を

（２）各校の教科予算、教材費の確保を

（３）事務職員、校務補助員、学校司書の配置を

（４）ＩＣＴ，電子機器の導入後の十分な修理・メンテナンス費用の確保を

過去の学校関連団体からの寄贈品も対象に

（５）旅費予算の確保を

**３、施設・設備に関する事項**

昨年度、学習環境改善事業費、府立学校老朽化対策費、府立学校施設設備緊急改修事業費などにより、トイレの環境整備や老朽化に伴う安全対策等に応えていただきました。

本年も多くの切実な要望が寄せられています。現代の府立学校にふさわしい教育環境の整備を要望します。

（１）トイレの設備と環境の整備

① 便器の洋式化だけでなく、壁・床などの環境、臭気対策などに極めて多くの要望が寄せられています。４か年の計画の実施にあたり、様々なニーズについて協議され、使いたいと思う学校トイレの設計と環境の整備を要望します。

（具体例）

　　・臭い対策（男子便器の自動洗浄化、換気力アップ）

・トイレ室の壁、床、扉、排水等の改善と環境整備

・水道蛇口の自動化（衛生管理の為）

② ３０年度実施設計４０校の学校名を公表願いたい。

（２）空調設備の拡充

・一般教室以外の特別教室、実習室、視聴覚教室、会議・応接室に設置

・さらに食堂や体育館への設置要望あり

・学校関連団体からの寄贈空調機に対しても必要なメンテナンスを

（３）更衣室の設置と整備

・実業高校の女子生徒増加に対応した更衣室の設置

・プール併設の更衣室の修繕、整備

（４）自転車置き場の改善

・屋根のないところ屋根を設置、雨天の雨合羽の置き場を併設する

（５）老朽化した施設・設備の改修

　　　安全を考えた緊急改修と教育環境の整備について

　（要望例）

　　　・プールの浄化槽の改修

　　　・各校より破損設備、備品、継ぎ接ぎ床等を急ぎ改修する要望

・老朽農場温室の解体撤去を重ねて要望

　　　・グラウンド整備のため必要な土の入れ替え、にがり散布、散水栓設置

　　　・グラウンド周辺の低い防球ネットの改修

**・**校舎や体育館に太陽光発電システム、暗いところをＬＥＤ照明設置

　　　　→　光熱費の確保につながる

**４、進路指導に関する事項**

（１）就職支援コーディネーターの配置

　　　今年度配置がなくなったが、学校就職希望者のためにも必要

（２）給付型奨学金制度の充実と採用人数増

**５、専門教育に関する事項**

（１）実習・課題研究に必要な、実習材料や作業服の購入といった消耗費を増額し、実習費等で徴収される生徒負担の軽減を

1. 専門教育の充実のため古いパソコン、機器の更新

**６、その他、ＰＴＡ活動に関する事項**

（１）各校のＰＴＡが独自に行う支援活動が、府の監査・査察等で不必要に制限されないこと

* 学校の施設・設備の改善や学校管理運営費に対する要望はＰＴＡとして生徒の安全・安心を守る立場からの要望であることをご理解ください